

道 -ROAD-

大阪学芸中等教育学校
校長室だより

「やれ」でやるより「やる」でやる

校庭の桜も散り始め、春の深まりを感じます。4月に入り、一日の気温差も大きく、「花冷え」と言われる少し肌寒い日もあります。まずは、自分自身の体調管理をしっかり行ってください。

新型コロナウイルス感染症ですが、4月5日から大阪府に「まん延防止等重点措置」が適用されました。その後も感染の急拡大が続いており、昨日行われた府の対策会議で、大阪モデルで非常事態を示す「赤信号」を点灯させて、「医療非常事態」を宣言することを決定しました。

このようなコロナ禍の中、6年生は石垣・沖縄方面の修学旅行(4/2~6)が無事終了しました。何とか大きな行事を行うことができ大変うれしく思います。楽しい思い出がたくさんあったことと思いますが、しっかり気持ちを切り替え、2021年度をスタートしましょう。

ところで、先日、水泳の池江璃花子選手が、日本選手権の女子100mバタフライで優勝し、東京オリンピックのメドレーリレーの代表に内定するという快挙を成し遂げました。2年前、18歳の若さで白血病という血液のがんになり、過酷な闘病生活を経て、奇跡的な復活劇を披露しました。医学が進歩したとはいえ、がん治療は身体に大きなダメージを与えます。体重も15kgも減ったそうです。想像を絶する我慢と努力を重ねてきた池江選手が、涙ながらに語った「**努力は必ず報われる**」という言葉に心が打たれました。コロナ禍という苦難の中、我慢と努力が求められる生活が1年以上も続き、気持ちも鬱陶しくなりますが、必ず報われると信じ生活して欲しいと思います。何も新しく特別な事をしてくださいということではなく、今まで行ってきた感染防止を行うこと、基本に忠実にということが大切ではないでしょうか。

さて、今年度の大きな目標は「**自りつ(自律・自立)**」です。

「**自律**」は、自分を律するという事です。皆さんは、今まさに大人になる入口に立っており、時には大人としてみなされ、正しい判断や行動が求められます。**甘い考えやわがままな行動を捨てて、自分に厳しくならないといけません。**また、人とうまく関わっていくためには、**自分の気持ちをコントロールする力**が必要です。時には、我慢することも必要です。「自律」は、社会でいろんな人とかかわっていくために、とても大切な力と言えるでしょう。

「**自立**」は、**他の力にたよらないで、自分のことは自分でする**ということです。自分の日常生活を振り返ってみてください。どんなことでも、誰かにやってもらうのが当然と思いませんか。今まで家族や友だちに頼っていたものがあれば、まずは自分一人の力で頑張ってみてください。それが「自立」することにつながっていくと思います。

皆さんが、「自りつ」するためには、「**やれ**」でやるより「**やる**」でやるということです。

「やれでやる」は、指示されてから行動をおこすもので、自発的に先を読んだ行動とは言えません。一方「やるでやる」は、指示されなくても、自分の意志で考えて行動をおこすわけです。たった一字の違いですが、これはとても大きな違いです。

勉強するということを考えてみてください。勉強とは本来やらされることではなく、自分からしていくものなのです。学校や家庭で「勉強をきなさい」と何度も言われているので、勉強とはやらされるものと思いませんか。早い段階から「やらされる」から「やる」へと切り替え、自分の目標となる進路に向けて突き進んで欲しいと思います。

指示されて「やれ」でやるのではなく、自発的に「やる」でやるという生活習慣を身につけ、考えて行動できるようにしていきましょう。